

有害プランクトン調査結果（速報）

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

令和3年11月9日付けで発出したカレニア ミキモトイ *Karenia mikimotoi* の有害プランクトン注意報 (R3 No.2-①) は、令和3年11月29日の調査結果をもって解除します。

- 令和3年11月29日に東京湾で有害プランクトン調査を実施したところ、カレニア ミキモトイは内湾の全域および内房の一部でみられましたが、最高密度は盤洲南部の4.2細胞/mLと全ての調査点で注意が必要な密度を下回りました（下表）。
- 次回の調査は令和3年12月6-7日の予定です。

	調査点	カレニア ミキモトイ 密度(細胞数/mL)
内湾	富津沖	0.8
	アクアライン北部	0.7
	アクアライン南部	0.9
	船橋沖	1.1
	千葉沖	0.8
	盤洲北部 (BC)	0.7
	盤洲南部	4.2
	羽田沖	0.1
内房	2海ほ沖	0.4
	大貫沖	確認されず
注意が必要な密度		100
警戒が必要な密度		1000

千葉県水産総合研究センターでは、東京湾でプランクトンの出現状況調査を実施し、毎月1回有害プランクトン情報を発行していますが、有害プランクトンが確認された場合など必要に応じて調査結果を速報として発行します。

（連絡先：東京湾漁業研究所 0439-65-3071）